

○2015年の「選択する未来」の提言についての評価や、これまでに積み重ねた議論は、事務局のまとめの通りだが、これらを踏まえて、報告書で特に強調すべきメッセージは何か。

地方再生や少子化に関わる問題の根幹において、生産性を上げることが重要である点、そして生産性の低い企業の退出を促すことが必要なことは、私自身は、数回の議論を通じて極めて明確になったと思っています。あとはこれを実行できるかどうかだと思います。その覚悟を問うようなメッセージであるべきかと思っています。

○特に、取りまとめに当たっては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、経済社会への深刻なダメージや、現段階で予見できる大きな不可逆的変化も見据えた報告とすべきと思うが、将来への時間軸も考慮しながら、どのようなメッセージや具体的政策提言がよいと考えるか。

コロナの影響で、10年、20年かけて起こる変化が一気に起こっています。

Who led your company's digital transformation – CEO, CTO or COVID-19?という冗談がtwitter上でありましたが、オンライン、デジタル化などの大きな変化が、いままでに考えられなかった業界でも起こっています。日本はどうせ外圧でしか変わりません。このコロナを黒船と捉え、働き方や仕事のあり方、生産性に対する考え方を改め、オンライン化・デジタル化・AI化を進める、規制を崩し、新陳代謝を促す、そういった大きな変革を同時に起こしていくべきだと思います。このチャンスを逃すと、日本が変われるときはまた長らくやってこないと思います。そういった短期的な変化と長期的な方向性を織り込んだ、強いメッセージにすべきかと思っています。